

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスさくらんぼ天祐		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 10日		～ R7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R6年 12月 12日		～ R7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童にとって安全でわかりやすく構造した環境を作っており、清潔で心地よい空間を提供できている。	ミーティングを通して、児童にとってわかりやすい空間を作るために情報交換を密に行っている。 ヒヤリハット報告で情報交換を行い、安全な空間を提供できるよう努めている。	転んだ際の万が一に備え、安全な環境づくりを再検討していく。
2	ひとりひとりの児童の特性を理解し、スタッフ一丸で児童に合った支援を行えている。	スタッフ全員への情報共有ができるよう、ミーティングの実施、議事録の作成、LINEでの情報共有を密に行っている。	児童の特性を理解したうえで、よりよい支援が行えるよう研修等の参加を増やしていく。
3	相談・連絡しやすい環境づくりを行っている。	連絡帳や送迎時の情報伝達に加え、SNS(Instagram)を通して児童の様子がわかるよう努めている。 LINEも駆使し、気軽に連絡・相談ができるよう努めている。	引き続き、相談・連絡をとりやすい環境づくりを行っていく。 Instagramの投稿頻度を維持していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流が少ない。 その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	児童の預かりニーズ(児童によって預かる時間やお送りする時間が様々)が違うこと。 特性上、大きな集団活動よりも小集団での活動の方が向いている児童が多いこと。	お出かけイベントの場所を増やし、様々な場所で他児童と交流できる場面を増やすよう心がける。
2	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催ができていない。	児童の預かりニーズの問題(定休日(第4日曜日)以外の土日祝も児童の受け入れをしている。)がある。 駐車場の問題や教室の広さの問題もあり、教室での実施は難しい。	親子、兄弟姉妹が参加できるイベントを検討する際は、広い別の場所を検討する。 3事業所合同で行えないか、提案・検討していく。
3			